



「EHPサービス提供支援プログラム」の活動の一つである乳幼児健診で子どもの体重測定に並ぶ母親たち

実践! ★★★★★ 人間の安全保障

人々の安全保障に、 地道かつ誠実に取り組む

食料不足、環境破壊、HIV/エイズのまん延などにより、慢性的な貧困状態にあるマラウイ。JICAは、人々の生存を支える環境づくりと能力向上を支援するという基本方針のもと、「欠乏からの自由」を実現するための協力を展開している。

北

海道と九州を合わせたほどの細長い国土に約1300万人が暮らすマラウイは、アフリカではまれな紛争経験の少ない国ですが、慢性的な貧困が人々の生活を脅かしています。例えば国民の8割が従事する農業。昔ながらの天水に依存した生産性の低い農法で行う農家が多く、年間収益は100ドルほどです。また保健医療面では、46・3歳（2005年）という平均寿命からも分かるように、栄養不足で体力がなければかりか、医師や看護師、薬、診療所、医療機材などのすべてが不足し、人々は十分な保健サービスを受けることができません。教育面では、学校や教員の数が足りず教育レベルが低下し、小学校を卒業する子どもは全体の9%余り。さらに、国民の9割が調理に薪や炭を利用しているため、年間3万ヘクタールの森林消失という環境破壊も進行しています。

こうした幅広い課題を抱える同国に対し、JICAマラウイ事務所では「人々の生存を支える環境を確かなものにする」支援と「人々の能力を向上させる」支援の2つの基本方針に沿って、人間の安全保障の実現に取り組んでいます。「生存を支える環境づくり」のために行っているのが、小農の経済活動を後押しする「一村一品運動のための制度構築と人材育成プロジェクト」です。マラウイは農業国でありながら大半の農作物が未加工のまま安く消費され、町で売られる果汁飲料やトマトケチャップ、菓子類などの加工商品は高価な輸入品がほとんどです。こうした現状を踏まえ、プロジェクトでは、地元農作物を活用した付加価値の高い加工品を製造・販売し、農民たちの収入アップを図るこ

とを目指しています。活動内容は、中央・地方政府に対する制度構築のためのキャパシティ・ビルディングと、生産者グループなどへの食品加工や品質向上、小規模ビジネス（マーケティングなど）に関する研修、機材供与などです。現在は、政府の一村一品事務局の組織強化と人材育成を中心に行っています。生産者グループなどへの支援が本格化するのには次の段階であり、息の長い取り組みが求められますが、地道にかつ誠実に継続していきたいと考えています。

一方、「人々の能力向上」に向けた支援の一つが保健・衛生サービスの改善です。JICAは「EHPサービス提供支援プログラム」を通じて、主要11疾患 対策をパッケージ化（Essential Health Package: EHP）し、無償で全国民に提供するというマラウイの政策をサポートしています。具体的には、医療施設・機材の整備とともに、医療機材の維持管理技術の指導や地方部への公衆衛生分野などの青年海外協力隊派遣、現地NGOを通じたHIV/エイズ予防活動と多岐にわたります。さらに教育の質を高めるべく、教育行政官の能力向上を図ると同時に、理数科教員を再訓練する「基礎教育拡充プログラム」を実施中です。

しかし経済活動や保健・教育サービスなどが充実した社会づくりを行っていくには、人々が毎日の食事を心配せずに生活できることが前提です。そうした暮らしを築くために、JICAは「小規模灌漑開発技術協力プロジェクト」をはじめとするさまざまな協力により食料増産を図り、人々が「欠乏からの自由」を実現できる日を目指しています。

HIV/エイズやマラリア、結核、下痢症などマラウイで罹患者数の多い疾病。